

砂山地域まちづくり新聞

みんなで話し合い、みんなで行き組み、ふれあう集落・地域を目指して

第9号 平成26年3月31日発行

集まり 考える

会長 伊與部 眞士

「まちづくり協議会」が発足して二年経ちました。協働のまちづくりとは何ぞや。難しい議論はさておき、私たちの住んでいるこのムラを少しでも元気に、お互いが仲良く暮らしている場にする、そのために力を出し合おうではないか、そんな願いからスタートしました。まだまだ手探り状態というのが本当のところかもしれません。が、確実に言えることがあります。それはお互いが考えたことです。良かれと思つたことを実施したことです。大勢の人達が参加したことです。集まることによつてまた考えます。新しいアイデアも生まれます。

初めて全員が顔を合せたムラもあります。昔の行事を掘りおこし復活させたムラもあります。こうしたことが物事を生み出す力になるのだと思います。「先ず隗より始めよ」です。

運営委員、代議員はじめ皆さんのご協力に感謝いたします。



花いっぱい事業

砂山地域のみなさん80人で、600本の苗を植えました。部会で検討した結果、塩谷海岸の夕日と波を描いて、砂山地域をアピールしようということで、行ったものです。昨年やってみたことで、いろいろ分かった点が出てきました。今年、この経験を活かして、楽しい、目立つように、砂山地域をアピールできるように計画します。ぜひ、植栽にご参加を願いたします。



マリゴールドとベコニアで夕日と波を描いてみました

5月26日(日)

ワクワクお幕場ウォーキング

松林と体育館に

歓声が響き渡りました

10月14日(月)

砂山地域には、ここにしかない広大な松林があります。この松林を使って地域でのふれあいを深めようと、「ワクワクお幕場ウォーキング」を行いました。

内容は、動物のグッズを捜しながら、松林を散策する「サファリウォーキング」、砂山小学校体育館で「紙飛行機飛ばし大会」、「大道芸鑑賞」、とん汁での「昼食会」と、半日ではありましたが、36チーム150名の参加をいただき、秋晴れの中、楽しい歓声がかましていました。今年も、楽しいものを企画します。お楽しみにしてください。



「まちづくり」で 自分ができること

牛屋 遠山 利幸

「まちづくり」という漠然としたものに対して、何ができるのかをずっと考え続けた二年間だったと思います。



その中で感じたのは、集落の垣根を越えた砂山地域全体でふれあう事の大切さです。この運営委員になるまで、他の集落が何をやっているのかわかりませんでしたし、ふれあう機会もありませんでした。正直、運営委員として自分ができたのか分かりますが、この組織を通して他集落の人達とふれあいを続けていくことが結果として、まちづくりに繋



牛屋区ふれあい大会給水リレー

がっていくのではないかと思います。これからも地域の人達との繋がりを大切にしていきたいです。今年も、楽しいものを企画します。お楽しみにしていってください。



牛屋区ふれあい大会縄織りリレー

コミュニケーショングづくり

福田 田中 英隆

福田集落では、ひとつは子供からお年寄りまで参加できる行事として、健康ウォーク、ゲーム等に加え、お年寄りにはゲートボールをしていただき、交流を深めています。その後のとん汁での懇親会も、親睦を深める大事な場です。

また、今年から新しい行事として、“どんどん焼き”を行いました。集落では初めてでしたが、大勢の皆さんに参加して



いただきました。今後も集落行事として続けていきたいと思えます。

それと福田には、昔から伝わる獅子踊りがあります。今は保存会として、区のほぼ全戸が会員です。主役は、小中生・男女を問わず全員です。四月から練習を始め、八月のお祭りに神社に奉納します。子供たちとの大事な交流の場となっています。

この他に、下水掃除、缶拾い、排水路の草刈り等々、福田区民にとって人とのつながりの大事な場となっていると思えます。



福田区パットゴルフ大会

この二年間砂山地域の まちづくりに関わってきて

福田 佐藤 賢一郎

村上市全域で、市民協働によるまちづくりが始まって二年目が終わりました。神林地区では、各小学校区単位に分かれて、それぞれ地域ごとで事業を行っています。私たちがの砂山地域では、この二年間、松林を利用したお幕場イベントと荒川堤防へ花を植栽する砂山地域花いっぱい事業に取り組んできました。この事業は、まだ地域住民の皆さんに馴染みが薄いためか自主的に参加する人が少ないように思いますが、参加された皆さんからは、楽しかったという声が聞かれました。

今後、この事業が、地域の皆さんに広まり、毎年イベントが開かれるのを楽しみに待っていて、大勢の方が自主的に参加し、集落を超えた交流の場になっていくよう期待しています。



福田どんどん焼き

二年間をふりかえり

北新保 小田 清



まちづくり協議会の運営委員に携わり、二年が経過しました。最初は何をどうしたら良いかわかりませんでしたでしたが、会議等を重ねるごとに方向性も見え、各集落での行事等への助成、また砂山地域ではお幕場部会と花いっぱい部会の二部会を立ち上げ、各集落からの代議員の方々にも協力を頂き運営をし、実績を残し充実した二年間でありました。

今後ますます発展するまちづくり協議会であり続けてほしいと思います。



北新保区収穫感謝祭

振り返って

長松 小林 正彦

まちづくり協議会立ち上げ当初から参加してきましたが、砂山地域全体の活性化イベントに関しては、まだまだ課題が残りました。

というのも、「まちづくり」というくくりは、幅広いうえに、全世代に楽しんでもらえるイベントをと、難しく考えてしまったからです。

今後は、より多くの方からアンケートやご意見を伺って、まちづくりを盛り上げていけたらと思います。

メリハリで活き活き

北新保 後藤 栄一



北新保区たなばた

私は、若い頃からランニングを続けています。体力向上とか健康のためという目的はありませんでしたが、ひと汗かく爽快感を味わっているうちに習慣となりました。

走ることにどれ程の効果があるのかは分かりませんが、体を動かすことは億劫ではないし、不摂生のわりには病気になるにこれたのは、そのおかげかなと思います。

体の調子が良いと物事に対しても積極的になれ、それだけでも充分に楽しいものです。

ジョギングやウォーキングを軸としたメリハリのある生活が心がけています。



長松区集落事業「東北応援と区民交流会」の様子と事業をまとめた冊子(右)



これからは、車だけでは無く、弓道に興味がありますので、機会を見つけ挑戦してみたいと考えています。これからの生活を充実すべく、私の元気づくりに取り組みしていきます。



私の元気は「愛車の手入れ」

赤松 佐竹 弘勝

私の元気づくりとしまして、原稿依頼がされた時点で気づきました。趣味やこだわりが特にならない事に。

あえて、こだわりを申し上げますと、愛車でしょうか。今乗っている車は、大変気に入っています。

高速道路での安定性が気に入っています。市街地では車体の大きさの見た目と違い、取り回が良く、ハイブリッド車なので燃費も良く、車内も静寂です。休日になると、洗車機での手抜き洗車にて、日頃の疲れを取り、リフレッシュしています。



赤松区の総会の様子



赤松区〇×クイズ

人とまち

赤松 本間 善秋

まちづくりとは、一人ひとりがまちづくりに関心を持って事業に取り組む、参加することだと思えます。

多くの人に喜んで参加してもらえ、るために、みんなで話し合い、この集落に住んで良かったと思え、住みやすく安心して暮らせるように、人と人とのふれ合うまちづくり活動をこれからも続け行ってもらいたいと思います。



塩谷区お幕場散歩

二年間、まだ二年目

塩谷 田村 力栄

二年間、役員として協力させていただいた「まちづくり」。実際のところ、関心を持って参加して下さっているのは、役員の家族、知り合いがほとんど、毎回同じような顔ぶれで、少し落ち込むところも・・・。

でも、まだ二年目、どこが悪いのか、何を改善すればよいか、年代ごとに意見を聞いたり、女性の方にも役員に入ってもらったりと、これからの課題はとも多い。

だが、少しずつ芽が出ているのも確か、子供からお年寄りまで、大勢が参加できる「まちづくり」を、頑張っています。



前例のないところから始まった

まちづくり

塩谷 佐藤 由之

二つの部会に分かれ、さまざまな意見が出る中で、大きな事業を実施してきました。

私は、砂山地域花いっぱい事業の一員でしたが、農業の経験も、花に関する知識もなく、他の部会員さんいろいろなご迷惑をおかけしました。

しかし、二年間を振り返れば、運営委員の皆さんや行事に関わった大勢の皆さんと知り合いになれ、いっしょに汗を流せたことが、一番楽しかったと思っています。



塩谷区盆踊り



塩谷区作品展(集落内団体の活動紹介コーナー)



塩谷区作品展

ご意見・ご感想・問い合わせは

■村上市神林支所 地域振興課自治振興室 山田義則
(TEL、告知 66-6122、FAX 66-6110)